

質問者



松本 一二美 議員

Q

農家の家族経営協定の普及を

A

推進していきます

問

農家の女性の地位向上を目指す観点から、家族経営協定の普及に関して伺う。

- 1 当町の家族協定締結戸数の状況は。
- 2 実状と実態把握に努める考えは。
- 3 普及促進のための方策は。

答

産業部長

この協定は、農業に経営感覚を取り込み、農業の近代化を図ることが目的で、当町では平成15年度から県と連携し推進しています。

- 1 現在9組20人で、3月18日には3組7名が新たに協定されます。
- 2 締結者の約半数が女性で、男女共同参画の面からも推進していきます。
- 3 締結家族に聞き取りを行い、普及推進に活かします。

問

防災の取り組みは

火災による悲惨な高齢者の事故が多い。住宅用火災警報器の義務期限まであと1年に迫った今、防災の取り組みを伺う。

- 1 警報器設置状況と啓発活動は。
- 2 高齢者に一定条件での設置補助を。
- 3 防災意識を高める取り組み推進を。

答

普及啓発に努めます

総務課長

- 1 75歳以上の独居高齢者宅440戸は、消防団の協力で防火相談とあわせ設置しました。
- 2 原則、自己負担で設置すべきと考えています。
- 3 自主防災組織では、独自に防災訓練を実施しています。活動支援として補助金を出しています。

問

介護保険事業の現状は

介護保険制度がスタートして10年になる。当町の介護保険事業の現状を伺う。

- 1 施設待機者の現状は。
- 2 在宅支援介護の取り組みは。
- 3 小規模多機能型居宅介護事業の現状。
- 4 要介護認定審査の問題点と対応策は。
- 5 介護保険を利用しない元気なお年寄りへ「三元気ポイント」制度の実施を。
- 6 レスパイトケア事業の拡充を。

答

地域包括ケアシステムの構築を目指します

保健福祉部長

- 1 特別養護老人ホーム入所申し込み数は114人。内、要介護4以上は44人です。
- 2 地域包括支援センターを設置し対応していきます。
- 3 施設整備を進めています。
- 4 申請受理後、決定まで1ヶ月。公平・公正・迅速な認定を、全国町村会を通じて要望しています。
- 5・6 今後検討します。



家族経営協定調印式

仲よくがんばってね♡



命を守る火災警報器